



近つ飛鳥

令和6年11月25日
学校だより12月号
河南町立近つ飛鳥小学校

貴重な経験ができた修学旅行

校長 鍵谷 直毅

2学期も残すところひと月ほどとなり、本格的な冬の訪れが近づいています。子どもたちには、体調にも気を付けながら寒さに負けず元気に活動し、2学期の振り返りやまとめをしっかりと、良いかたちで2学期を締めくくってほしいと思います。

さて、11月7日(木)、8日(金)に6年生の修学旅行(三重県方面)を実施しました。1日目は、午前中に伊賀で伊賀上野城の見学と組み紐体験(キーホルダーまたはブレスレットの作製)、午後は伊勢方面へ移動し、伊勢シーパラダイス(水族館)の見学や二見旅館街でお土産の購入、2日目は、ナガシマスパーランドでアトラクションなどを体験し、充実した活動をすることができました。今年の修学旅行ではテーマを

「突破」 (と…ともだちと つ…つながり は…はずかしさを捨てよう)

と、子どもたち自身が考えて決定し、近りんぴっく(運動会)を終えてから、修学旅行まで3週間余りの短い期間でしたが、修学旅行実行委員を中心に6年生全員で協力し、助け合いながら準備を進めてきました。修学旅行へ向けた取り組みや当日の活動の中で、6年生全員が様々な場面で「突破」することを意識し、現状を打破して自分自身をさらに成長させることを目指して、特に修学旅行当日の活動では、様々な場面で子どもたちから「突破しよう」という声が聞かれ、子どもたち一人ひとりが積極的に様々なことに挑戦していく姿が見られました。中にはうまくいかなかったこともあったと思いますが、仲間の温かい支えと6年生がこれまで築いてきた繋がりが安心して挑戦できる雰囲気をつくっていたようです。1泊2日の短い時間であったかもしれませんが、子どもたち一人ひとりに確かな成長が見られ、新しい自分に出会う貴重な経験もでき、改めて仲間の素晴らしさを感じてこれまで以上に繋がりを深めることができた2日間であったと思います。

12月に入ると、6年生の卒業まで4カ月足らずとなりますが、より一層日々の生活を大切にして充実した時間を過ごし、さらなる高みを目指して成長してほしいと思います。また、下級生は、6年生の姿を見ながらしっかりバトンを受け取ってほしいと思います。

<作品展示について>

12月18日(水)から20日(金)の期間で、個人懇談会を実施します。お忙しい時期かと存じますが、ご出席をお願いいたします。また、期間中、玄関付近や1階廊下に子どもたちの作品を展示しておりますので、ご鑑賞いただければ幸いです。